



問 農業の6次産業化に向けての施策及び構想は

答 将来的には加工施設等の建設や個人の機械導入へ！

6次産業化とは、1次産業の農作物の生産、2次産業の加工、3次産業の販売を一貫して行うことで、付加価値を高める取組であり、農業従事者の所得向上に6次産業化が有効と考えるが。

問 6次産業化へ向けての施策及び構想は。

産業課長 ノウハウを持ったアドバイザーの導入や地域商社をコーディネーターとした事業者間連携体制の構築、販路の拡大などを進め、将来的には加工施設等の建設や個人の機械導入につなげていきたいと考えています。

道の駅で農作物が早い時間帯に売り切れになってしまう。また、農作物を新規に出荷し

ようとしてもハードルが高いとの声を聴く。多くの方が出荷することで収入を増やし、早い時間帯での売り切れがないようにすべきと考えるが。

問 道の駅への出荷状況や新規出荷への取組は。

産業課長 商品が売れた生産者に補充を求める連絡をして

いますが、なかなか補充されないのが現状です。新たな対応策を検討したいと思います。町内者の新規出荷は会員申請書を記入し、販売組合へ申込みことで出荷でき、特に難しいことはありません。新規出荷者が出荷しやすい環境を整える取組を実施していきます。



リニューアル後の道の駅ごか

問 コミュニティ交通の将来像は

答 ワンボックスカーを導入することも念頭におき、利便性の向上へ！

ごかりん号の運行ができない地域の方から「バス停が遠い」との声を聴く。また、ワゴン車などによる出発地から目的地までのドアtoドアの運行が増えているように思うが。

問 本町のコミュニティ交通の将来像は。

生活安全課長 現時点においては、乗車料金の値下げをし、回数券の導入などにも取り組

む予定です。将来的には、ワンボックスカーを導入することも念頭におきながら、町民の方々の利便性の向上を図っていきます。

社会福祉協議会に委託している「在宅福祉サービスセンター」で実施している「外出サービス」があるが、利用の1週間前に予約のため、いざという時に使えず、タクシー

等を利用することになり、経済的に負担となっている方がいるが。

問 外出サービス利用者に対して、タクシー券等の助成ができないか。

健康福祉課長 助成を実施する場合、町の公共交通の体制と合わせた協議が必要となると思われます。今後、必要に応じて協議を行っていきます。